**第174回ペン川柳10月箕面合宿、お題「光る」**

**世話人：平尾富男**

**日時＝平成30年10月26日(金)**

**（\*印は今月の互選五句、\*は最優秀句）お題「光る」**

**10月は箕面での一泊合宿で、総勢10名による勉強会でした。**

**大阪在住の明迷(八木)さんのお骨折りで、大阪市の奥座敷、箕面の箕面山荘にて**

**楽しく賑やかに開催することが出来ました。翌日には大阪市内散策と天満天神繁**

**盛亭にて昼寄席を楽しめました。八木(明迷)さんには改めて感謝申し上げます。**

**1．「負けまいと伊調返しが光ってる」素っ頓狂**　→　**得点＝3点**

再度（最後の！）柳号の変更（マリヤ、魔離矢から）です！　先月「浮気者の誹りを避けるためにもう改名はしない」と言った矢先の改名です。ひょっとして浮気者なんでしょうか？

元句は「**負けないと**」でしたが添削されました。**「銀杏返し」**を女子柔道の**伊調選手の返し技**で光らせましたが、投句でしたので互選五句からは漏れました！

**\*2．「ビッグバン光る力で宇宙生む」井波**　→　**得点＝3点**

相変わらずの「サイエンス川柳」で実力発揮の井波句です。最近頭が光りつつある作者は元気溌剌です！

**3．「才能が光っていても素寒貧（スッカンピン）」酔深**　→　**得点＝2点**

頭脳明晰な人物がその才覚を生かして大金持ちになるとは限りません。作者の場合も頭が良すぎて？貧乏暮らしなんです（泣）！

**4．「オフショアに目を光らせる国税庁」晃二**　→　**得点＝2点**

一寸古い時事を詠みました！　「目を光らせる」は「目」が普通ですが、作者は**「眼」**の漢字を使いましたので添削されました。

**5．「光るほど頭を垂れるオヤジかな」火酒**　→　**得点＝2点**

　　この句は、作者の大好きなオヤジを褒めていると思いきや、光る意味は頭脳が明晰というのではなく、髪の毛が薄くなる（禿げる）高齢男性を皮肉っているのです。作者の髪も最近とみに薄くなっているですが頭を垂れることはありません。

**6．「OBで光るボールをそっと蹴り」拿々**　→　**得点＝2点**

　　企業OBではありません。ゴルフが今でも大好きな作者は、**OB**(Out of Bounds)にボールを打ち込んでも、打ちやすい場所にボールをこっそり（堂々と？）蹴り出すことがよくあるようです。誰も見てないとご本人は思っていますが、実は見られているんですよ！　**OB**と「光る」関係がこの句では希薄ですが……

**▲7．「選良も一皮剥けば七光り」我々好**　→　**得点＝6点**

　　高得点を得ましたが、残念ながらお題は**動詞の「光る」**です。この句では**名詞**の**「光り」**が使われたので失格となりました。選外の秀(臭)句です！　尚、「選良」とは、選ばれた優れた[人物](https://www.weblio.jp/content/%E4%BA%BA%E7%89%A9)。特に、[国会議員](https://www.weblio.jp/content/%E5%9B%BD%E4%BC%9A%E8%AD%B0%E5%93%A1)を指すこともあります。

**8．「禿げるから光るになってモテる人」明迷**　→　**得点＝2点**

　　中身は同じでも形容の仕方で印象も変わり、嫌われたり好かれたり……。

**\*9．「同期会禿げる光るは皆禁句」醉雅**　→　**得点＝4点**

　　70歳を過ぎて同期の仲間が集まれば、髪の毛があるかないかをお互いに見比べながらも口には出さないものです、嗚呼！（同病相哀れむ？）

**10．「妻の目に何故か光ってる涙跡」不言**　→　**得点＝0点**

　解釈によっては意味深なのでしょうが、作者の現状を知る座の川柳子たちは皆シーンと黙して語らずでした！　作者が矍鑠としてペン川柳に励んで居られるのがせめてもの救いです。不言さん、益々お元気で優秀ペン川柳をお作り続けてください。

**11．「光った才傘寿過ぎたら認知症」我々好**→　**得点＝2点**

　　**「十歳で神童、十五歳で才子、二十歳過ぎればただの人」**を下敷きにしました**。作者の場合は生まれてから八十年もの間、ずっとただの人です（泣）**

**\*12．「秋深し稲妻光る閨（ねや）の中」だし**　→　**得点＝4点**

　　「閨の中」が効いています。夏ではなく、晩秋の稲妻です。想像を逞しくさせる句ですね～　こんな句を詠めばこの会では高得点疑い無しなんです！

**13．「美技光るラストゲームの名選手」不言**　→　**得点＝0点**

　　元句の中七・下五は**「名選手のラストゲーム」**でしたが、字余りを避け、リズムを整えるべく添削されました。

**\*14．「披露宴光る祝辞にメモは無し」零門**　→　**得点＝5点**

披露宴では、長々と祝辞を述べる来賓の多くが書かれた紙に目を落としながら読み上げる場合が多々見られます。せめて暗記して式に臨まれたしと作者は皮肉を込めて言います。

**15．「この中で光る源氏は誰かいな」安兵衛**　→　**得点＝0点**

　　作者はペン川柳の仲間の中に**光る源氏**を探しましたが、探す場所を間違えました。そもそも男性である作者が光る源氏を求めるなんて、ちょっと心配になった同輩たちでした！

**16．「破（や）れ築地（ついじ）恋路分け入る光る君」晃二**　→　**得点＝1点**

　源氏物語の**「末摘花」**に拠る句。光源氏が**「なつかしき色ともなしに何にこのすえつむ花を袖にふれけむ」**と詠んだことを連想したのでしょうか。

**17．「光る海ブルーシートは台風禍」明迷**　→　**得点＝0点**

　　元句は**「光る海いや屋根のシートは台風禍」**でしたので、中七に添削されました。

**18．「光る海恋人たちにはたまらない」素っ頓狂**　→　**得点＝0点**

恋人たちにとって光る海は**どうして「たまらない」**のでしょう？この句を鑑賞させられる人はたまらないです！

**19．「鏡見て光る額がまた増えた」拿々**　→　**得点＝1点**

　　毎朝鏡を見る度に髪の毛が薄くなっているのを嘆いています。同情します、ご同輩！　「また増えた」は**「広くなる」**でも！

**20．「レトロなバー光るママにはサイドカー」井波**　→　**得点＝0点**

　元句の中七は「光るママ向け」でしたが添削されました。作者は行きつけの古めかしいバーの美人？ママにぞっこんなんですね！　アルコールの強いカクテルを飲ませてどうしようというんですかね～

**21．「親の目が光っていては手が出せぬ」酔深**　→　**得点＝2点**

　　この句は、親の目を掻い潜って手を出し続けた作者の体験の裏返しなんです。

**22．「時逝けど光る巷へいざ行かん」安兵衛**　→　**得点＝0点**

　元句では「光るかなたへ」でした。「時逝けど」が不明瞭でしたが、賑やかな世俗世界へ戻っていきたい気持ちを表しています。

**\*23．「あら捜し目を光らせる嫁姑」火酒**　→　**得点＝5点**

　　作者にとっては経験のない世界ですが、心の底では羨ましく思う人間関係を想像して詠みました。今月の最優秀句でした。

**24．「コンサート光る頭で席探す」醉雅**　→　**得点＝3点**

　　過去に読んだ句を思い出して省エネ・ズボラな提出句で、座のほとんどの人が以前に見たことがあると声を上げました。次回は出がらし投句でなく出席して光る頭で座を照らしてください。

**25．「ピカピカに光るナイフにシェフの顔」零門**　→　**得点＝1点**

レストランの厨房を覗いて発句しました。川柳ではありません！？

**26．「幽霊か光る大元（おおもと）何なのか」だし**　→　**得点＝0点**

さて、いったい何なんでしょう？

優秀五句は**\***印、その内の赤印**\***は最優秀句。

合宿出席：**稲宮**（井波）、**浜田**（我々好）、**三春**（火酒）、**安藤**（晃二）、**山縣**（安兵衛）、**平尾**（酔深）、**塚田**（拿々）、**大野**（だし）、**八木**（明迷）、**松谷**（零門）、　→　**10人**

欠席投句：**西川**（酔雅）、**岩崎**（不言）、**内藤**（素っ頓狂）　　　←　**3人**

投句無し：**細谷**（損得）　←**1人**

次回、**11月23日は、新宿西口「稲田屋」にて午後3時から開催**。